



2020年12月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年5月15日

上場会社名 株式会社 妙徳

上場取引所 東

コード番号 6265 URL <https://www.convum.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊勢 幸治

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 (氏名) 泉 陽一

TEL 03-3759-1491

四半期報告書提出予定日 2020年5月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第1四半期の連結業績(2020年1月1日～2020年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第1四半期	560	7.8	86	5.7	92	6.6	61	8.8
2019年12月期第1四半期	607	9.5	81	28.6	86	24.9	56	33.2

(注) 包括利益 2020年12月期第1四半期 8百万円 (86.0%) 2019年12月期第1四半期 62百万円 (13.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第1四半期	39.58	39.57
2019年12月期第1四半期	36.96	36.70

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第1四半期	4,983	4,584	91.5
2019年12月期	5,034	4,581	90.4

(参考) 自己資本 2020年12月期第1四半期 4,557百万円 2019年12月期 4,551百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	20.00	—	20.00	40.00
2020年12月期	—				
2020年12月期(予想)		20.00	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,123	5.5	76	40.5	91	34.7	56	36.8	36.88
通期	2,294	0.0	214	0.1	238	3.8	155	4.9	100.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料8ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年12月期1Q	1,657,000 株	2019年12月期	1,657,000 株
2020年12月期1Q	100,356 株	2019年12月期	114,331 株
2020年12月期1Q	1,554,103 株	2019年12月期1Q	1,528,986 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米中貿易摩擦問題の影響に加え、新型コロナウイルス感染症の拡大により世界経済が大きく減速し、厳しい状況となりました。日本経済においても、新型コロナウイルスの拡大により各業種での大幅な生産減少と、先行き不安からの設備投資の縮小も重なり、非常に厳しい局面を迎えております。このような環境下、当社グループは、将来を見据えた製品開発と、主力製品の基礎研究を強化する取り組みを行いました。販売面においては、新型コロナウイルスの影響による営業活動及び展示会等の自粛の中、ロボット関連製品の販売に注力しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、連結売上高は560,222千円（前年同期比92.2%）、連結経常利益は92,598千円（前年同期比106.6%）親会社株主に帰属する四半期純利益は61,504千円（前年同期比108.8%）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(日本)

製造工程の省人化、自動化設備導入の需要を背景に、ロボットハンド関連製品の拡販と電子部品業界の需要取り込みを中心に営業活動を展開してまいりました。新型コロナウイルス感染症拡大による先行き不安から、足元での設備投資の縮小がありましたが、一部生産設備でのメンテ需要の増加がありました。この結果、売上高は413,332千円（前年同期比101.1%）となりました。営業利益については、90,973千円（前年同期比149.5%）となりました。

(韓国)

引き続き、半導体製造装置業界や液晶関連設備業界への製品投入を行い、他方では、一般産業機器の自動化装置への拡販活動を行いました。新型コロナウイルス感染症対策による自粛等の影響を受けました。この結果、売上高は85,224千円（前年同期比66.9%）となりました。営業損失については10,446千円（前年同期は676千円の営業利益）となりました。

(中国)

米中貿易摩擦問題の影響及び新型コロナウイルス感染症の影響により、設備投資の減速及び輸出の減少を受け、売上高は27,787千円（前年同期比77.7%）となりました。営業利益については、売上減少の影響により3,851千円（前年同期比22.8%）となりました。

(その他)

タイ国では、タイ国及び周辺諸国での自動化設備への拡販活動を引き続き推進し、タイ国内では自動車関連設備への製品投入を積極的に行いました。また、米国子会社においては新規顧客開拓と、既存販売店への拡販活動を行いました。新型コロナウイルス感染症の影響により、売上高は33,878千円（前年同期比95.1%）となりました。営業利益については、1,903千円（前年同期比59.5%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末において、流動資産は前連結会計年度末に比べ17,884千円増加し、2,760,978千円となりました。これは主として、現金及び預金が32,858千円、受取手形及び売掛金が37,733千円増加したのに対し、電子記録債権が56,256千円減少したことによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ68,565千円減少し、2,222,378千円となりました。これは主として、有形固定資産が35,640千円、投資有価証券が38,671千円減少したことによります。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べ50,680千円減少し、4,983,357千円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ51,220千円減少し、249,365千円となりました。これは、支払手形及び買掛金が12,482千円、未払法人税等が12,084千円、賞与引当金が20,564千円増加したのに対し、流動負債その他が96,352千円減少したことによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ2,529千円減少し、149,426千円となりました。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ53,749千円減少し、398,791千円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ3,068千円増加し、4,584,565千円となりました。これは主として株主資本が57,668千円増加したのに対し、その他の包括利益累計額51,010千円減少したことによります。

その結果、自己資本比率は91.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間、通期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により影響を受けることが見込まれております。しかしながら、現時点でその影響度を合理的に算定する事が困難であるため、2020年2月14日に公表いたしました業績予想を据え置いております。今後の動向を踏まえ、事業の状況を精査の上、業績予想の修正が必要な場合は、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,744,153	1,777,011
受取手形及び売掛金	311,296	349,030
電子記録債権	253,633	197,377
製品	176,791	176,806
仕掛品	128,545	126,297
原材料	90,567	97,027
その他	38,417	37,822
貸倒引当金	△311	△394
流動資産合計	2,743,094	2,760,978
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,427,666	1,425,074
減価償却累計額	△769,269	△778,098
建物及び構築物（純額）	658,396	646,975
機械装置及び運搬具	1,018,261	1,016,936
減価償却累計額	△738,239	△750,877
機械装置及び運搬具（純額）	280,021	266,059
土地	707,598	706,889
その他	727,164	720,108
減価償却累計額	△627,743	△630,234
その他（純額）	99,421	89,873
有形固定資産合計	1,745,438	1,709,798
無形固定資産	102,079	94,290
投資その他の資産		
投資有価証券	381,009	342,337
繰延税金資産	461	17,152
その他	61,955	58,799
投資その他の資産合計	443,426	418,289
固定資産合計	2,290,943	2,222,378
資産合計	5,034,038	4,983,357

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	27,978	40,460
未払法人税等	29,620	41,705
賞与引当金	29,916	50,481
その他	213,070	116,717
流動負債合計	300,585	249,365
固定負債		
退職給付に係る負債	138,579	137,238
繰延税金負債	862	7
その他	12,513	12,180
固定負債合計	151,955	149,426
負債合計	452,541	398,791
純資産の部		
株主資本		
資本金	748,125	748,125
資本剰余金	1,002,571	1,012,960
利益剰余金	2,789,767	2,820,418
自己株式	△136,246	△119,618
株主資本合計	4,404,217	4,461,885
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	137,701	110,163
為替換算調整勘定	9,389	△14,082
その他の包括利益累計額合計	147,091	96,080
新株予約権	1,810	-
非支配株主持分	28,377	26,599
純資産合計	4,581,497	4,584,565
負債純資産合計	5,034,038	4,983,357

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

	(単位：千円)	
	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
売上高	607,458	560,222
売上原価	276,343	238,799
売上総利益	331,114	321,422
販売費及び一般管理費	249,513	235,140
営業利益	81,601	86,282
営業外収益		
受取利息	1,427	2,349
為替差益	481	648
受取地代家賃	3,059	2,806
その他	3,003	2,836
営業外収益合計	7,971	8,640
営業外費用		
売上割引	48	40
減価償却費	2,307	1,893
その他	351	390
営業外費用合計	2,707	2,323
経常利益	86,866	92,598
特別利益		
固定資産売却益	232	—
特別利益合計	232	—
特別損失		
固定資産除却損	158	0
特別損失合計	158	0
税金等調整前四半期純利益	86,940	92,598
法人税、住民税及び事業税	23,273	36,058
法人税等調整額	5,925	△5,467
法人税等合計	29,198	30,590
四半期純利益	57,741	62,007
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,226	503
親会社株主に帰属する四半期純利益	56,515	61,504

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
四半期純利益	57,741	62,007
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7,326	△27,538
為替換算調整勘定	△2,972	△25,754
その他の包括利益合計	4,354	△53,292
四半期包括利益	62,096	8,715
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	60,328	10,493
非支配株主に係る四半期包括利益	1,767	△1,777

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

1. 棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積もり、簿価切下げを行う方法によっております。

2. 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しましては、前連結会計年度に対し一時差異、経営環境等に著しい変化がある場合においてはその影響を加味しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	日本	韓国	中国	計		
売上高						
外部顧客への売上高	408,638	127,440	35,747	571,826	35,631	607,458
セグメント間の内部売上高 又は振替高	77,710	7,695	—	85,406	—	85,406
計	486,349	135,135	35,747	657,233	35,631	692,864
セグメント利益	60,835	676	16,891	78,404	3,197	81,601

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない所在地セグメントであり、「タイ」及び「米国」であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	78,404
「その他」の区分の利益	3,197
セグメント間取引消去	—
四半期連結損益計算書の営業利益	81,601

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	日本	韓国	中国	計		
売上高						
外部顧客への売上高	413,332	85,224	27,787	526,343	33,878	560,222
セグメント間の内部売上高 又は振替高	69,350	29,224	—	98,575	—	98,575
計	482,683	114,448	27,787	624,919	33,878	658,797
セグメント利益又は損失(△)	90,973	△10,446	3,851	84,378	1,903	86,282

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない所在地セグメントであり、「タイ」及び「米国」であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	84,378
「その他」の区分の利益	1,903
セグメント間取引消去	—
四半期連結損益計算書の営業利益	86,282